

# 神原 宏一郎の活動報告 2014年7月1日～9月30日 (抜粋) ※印は公務

日々の活動についての詳細は神原 宏一郎ホームページの日記をご覧ください！

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/diary.html](http://www.geocities.jp/positive_square/diary.html)

## 2014年7月

- 4日 第54回豊中市老人クラブ大会
- 8日 (株)クリエイティブテクノロジー千里センリエルキ-センター視察
- 9日 7月臨時議会 本会議 ※
- 13日 うへの歩こう会
- 18日 7月臨時会 本会議(未来とよなか代表質問) ※
- 22日 7月臨時会 本会議 ※
- 23日 7月臨時会 本会議 ※
- 26日 前向きサロン(市政報告会)
- 27日 上野連合自治会定例会
- 29日 文教常任委員会 傍聴 ※



## 2014年8月

- 3日 豊中まつりごみ分別ボランティア
- 4日 シドニー・IBA 大阪親善交流会  
豊中まつりごみ分別ボランティア
- 6日 総務常任委員会(神原在籍) ※
- 8日 議会運営委員会 傍聴 ※  
7月臨時会 本会議 ※
- 11日 箕面市役所 視察
- 18日 都市計画審議会 ※
- 20日 近畿市民派学習会
- 23日 上野まつり
- 25日 豊中市伊丹市クリーンランド視察
- 26日 総務常任委員会視察(茨城県筑西市) ※
- 27日 総務常任委員会視察(東京都府中市) ※



- 28日 豊中市立たちばな園見学  
豊中市立みずほ園・おおぞら園見学
- 29日 議会運営委員会 傍聴 ※
- 30日 「シニアスクールポプラ服部天神」開所式

## 2014年9月

- 4日 関西若手議員の会役員会
- 5日 議会運営委員会 傍聴 ※  
9月定例会 本会議 ※
- 6日 地域子ども教室参加  
上野連合自治会役員会
- 10日 建設水道常任委員会 傍聴 ※
- 11日 環境福祉常任委員会 傍聴 ※
- 12日 文教常任委員会 傍聴 ※
- 13日 敬老の集い
- 15日 うへの歩こう会
- 16日 総務常任委員会(神原在籍) ※
- 21日 さくらづか保育園運動会
- 26日 議会運営委員会 傍聴 ※  
9月定例会 本会議 ※
- 27日 インターン生模擬政策提案発表会
- 30日 関西若手議員の会役員会  
関西若手議員の会研修会  
インターン生政策提案発表会



## インフォメーション

## 明日への架け橋 (前向きサロン)

日時: 11月29日(土)  
午前10時～12時  
場所: 堀田会館2階第一料理教室  
(阪急バス豊中高校前から徒歩5分)  
参加費: 無料  
主催: 前向きひろば  
お問い合わせは 06-6854-5664 まで

参加者みんなで情報共有・意見交換出来ればと思っています。この夏の議員インターン生の活動報告も予定しています。気軽にご参加下さい！！



## 収支報告

神原事務所 2014年7月～9月分

### 2014年7月～9月分

収入	
議員報酬(注1)	¥1,923,000
合計	¥1,923,000
支出	
会派会費	¥30,000
所得税	¥161,679
議員団費	¥9,525
事務所費用へ	¥900,000
生活費	¥821,796
合計	¥1,923,000

(注1) クリーンランド議会報酬含  
(注2) イベント参加費・カンパ  
(注3) 勉強会参加費など

収入	
前月繰越残高	¥2,105,729
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注2)	¥234,000
合計(1)	¥3,239,729
支出	
家屋費(イベント会場含)	¥220,800
光熱費	¥15,962
通信費	¥19,454
印刷費	¥2,400
備品費	¥0
消耗品費	¥14,583
交通費	¥0
人件費	¥438,000
その他(注3)	¥40,474
合計(2)	¥751,673
次月繰越(1)-(2)	¥2,488,056

## 発行元 前向きひろば ~Positive Square~

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階

TEL & FAX: 06-6854-5664

平日(祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young\_spiritjp@yahoo.co.jp

[http://www.geocities.jp/positive\\_square/](http://www.geocities.jp/positive_square/)

「つながり日記」毎日 HP で更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

## 豊中の未来を描こう！！

発行 2014年11月

VOL. 97

父親になって  
1年が経ちました

## 神原 宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

豊中市議会議員  
無所属・未来派

## 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

## ◆2013年度決算審査！！～総務常任委員会にて～◆

### 《人事・給与制度の課題を徹底追及～勤続年数よりも能力や職責を重視せよ～》

#### ①上位と下位の役職者で給料の逆転現象を発生させない給料表の導入について

Q. 年齢や勤続年数に関係なく、役職や責任に応じた処遇になるような給料表の導入が不可欠ではないか？

A. 公務員の給与は、地方公務員法の「情勢適用の原則」「均衡の原則」等を考慮して決定されている。国家公務員の給与はその決定にあたり、「生計費」や「民間従事者の給与」が十分に考慮されているため、これに準じて給与を決定することが、法に定める「均衡の原則」に最も合致すると考える。

#### ②職種に応じた給料表(現業職の給料表)の設定について

Q. 一部を除き、求められる業務内容、責務、能力が全く異なる職種を同じ給料表で査定している理由は？

A. 給料表については、行政職給料表、医療職給料表、消防職給料表があり、専門性が非常に高い職種(医療職、消防職)については別の給料表を適用し、それ以外の専門職については行政能力も求められ、人事管理上の観点からも行政職給料表を適用している。

#### ③管理職手当の見直しについて～職責に対するインセンティブの明確化を！！～

Q. 責任と処遇を一致させるため、役職間での管理職手当の差を拡大させるなどの改革が必要ではないか？

A. 管理職手当の額についても国家公務員の制度を基本に対応しており、現在の額で、責任と処遇の一致が図られていると考えている。国を大きく上回るような額の設定は均衡の原則からも適切ではないと考える。

#### ④退職手当の見直しについて～全在職期間を評価した退職金の支給を！！～

Q. 現行の退職手当の算出方法は？

A. 退職時の給料月額に在職年数に応じた支給月数をかけて基本額を算出。退職直近5年間の役職分に応じて額を加算(0～300万円)している。

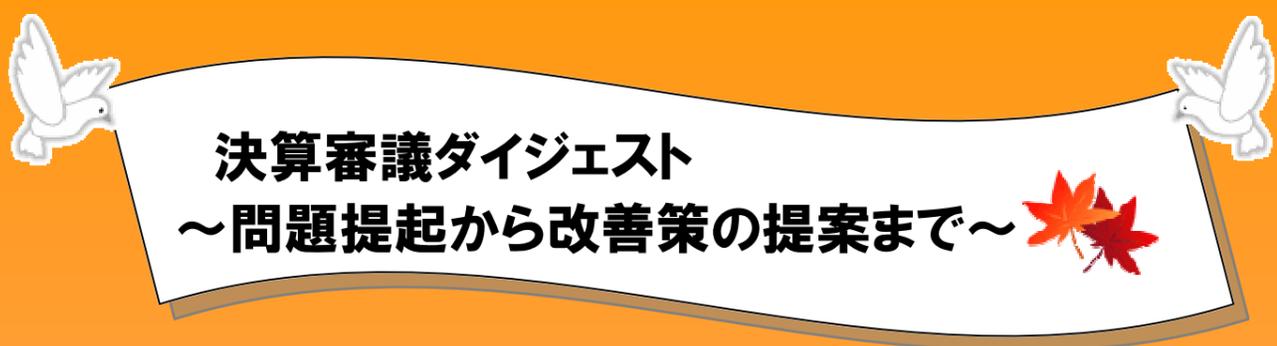
#### ⑤最終評価における相対評価について～緊張感と達成感、向上心と競争心を高める改革を！！～

Q. 現状では、曖昧な基準のもと絶対評価で、概ね全ての職員がほぼ同じ幅で昇給しているが、最終的には、相対的に評価し、毎年の給料(昇給の幅)や昇格・降格に反映させるべきではないか？

A. 現在、人事評価の給与反映を想定した人事評価を試行実施し、制度設計を進めている。今後、評価結果を給与、昇給等に適切に反映するにあたり、相対的な評価の考え方も入ってくるが、評価自体は、その目的が職員間に差をつけることではなく、人材を育成することであるため、あくまで絶対評価で行うものだと考えている。

### 神原の提言

現行の人事・給与制度では市職員のモチベーションの維持、向上が図られず、結果として個々の職員や組織としての成長が図れないように思う。能力の高い職員、頑張っている職員がやりがいや達成感を得られる一方で、長年、勤務はしているがほとんど昇格しない職員に緊張感や向上心を持たせる給与体系が必要ではないでしょうか。リストラがなく、ほぼ完全年功序列の給与体系を維持することで、組織力の向上が見込めるのでしょうか。官民格差の是正や厳しさを増す都市間競争に適應していくため、変える(変わる)こと、他と異なることを恐れず、より客観性、公平性を重視した人事・給与制度を確立すべき！！



# 決算審議ダイジェスト ~問題提起から改善策の提案まで~

## 《市所蔵美術品について~どうするの!? 791点もの美術品と8億7千万円の基金~》

Q. 専門的な倉庫を借り791点もの美術品を保管しているが、現在まで美術品の保管に要した総額は?

A. 約25年間で美術品の倉庫借上げ等にかかった費用は、**約1億4400万円**。

Q. 何故、これまで、美術品の正確な資産価値の把握や品質のチェックをしてこなかったのか?

A. 売却などの予定がないので、資産価値を現時点では把握する予定はないが、今後、大学等の専門家に作品を見て頂くことを検討中。長期保管している作品の品質のチェックは、所蔵美術作品展の開催や庁舎等に展示する作品を掛けかえる場合など、作品の搬出入を行う機会を利用し倉庫で確認を行っている。

Q. 来年度には(仮称)文化芸術センターが竣工予定だが、竣工後の美術品の活用や保管の計画は?

新たな美術品を購入する計画はあるのか?

A. 所蔵美術品は、同センターの多目的展示室における企画展や回廊型ギャラリーでの展示などを検討。同センター内に設置する収蔵庫に、現在倉庫に保管している美術品を移す予定。新たな美術品の購入については、現時点では購入予定はないが展開する事業を踏まえ、その必要性について検討する。

Q. 美術品の管理場所を変える際に、全ての美術品について、今後も市で保管するもの、しないものを判別する計画はあるのか?

A. 所蔵美術品の価値を把握するための鑑定はこれまで行ってないが、新しい収蔵庫に移すにあたり、専門家の意見を聞きながら収蔵庫に保管していくものと、しないものを検討していく。

### 神原の提言

(仮称)文化芸術センターが開設され、新たに設置される収蔵庫に、現在の倉庫に保管している美術品を移す前に個々の美術品の価値を判定し、保管し続けるものとしないものを選別すべき!!

現在、約8億7千万円 of 美術品等購入基金があるが、市の財政状況や社会情勢を考慮すると、今後新たに美術品を購入することは理解しがたく、多額に積み立てられた基金の有効活用を検討すべき!!

## 《選挙関連業務について~開票時間の削減と人件費の抑制を~》

Q. 昨年 of 参議院議員選挙の投票事務及び開票事務に対し、市としてどのような人員配置をしたのか。また、それぞれの業務に従事する人の中で、市職員の割合は?

A. 投票所66か所の従事者は合計573人。そのうち市職員は197人で、職員の占める割合は34%。開票事務の従事者は382人で、全て市職員。

Q. 市職員には、手当の支給ではなく、代休を付与することで経費の抑制が図れるのでは?

A. 週休日の振替制度は、原則として、勤務した週休日と同一週内の勤務日に振替え先となる週休日を設定する必要があり、仮に管理監督職を含む大規模の職員が一齐に同一週に振替を行った場合、市全体の円滑な業務運営に少なからず影響が生じることが想定されるため、適切な手法ではない。

Q. 府内の他の自治体と比べて、開票結果が出るのが遅いことに対する見解は?

A. 他市事例を参考にしながら、公正かつ効率的な開票事務に取り組んでいく。

### 神原の提言

開票業務は必ずしも人員数が多ければ、人件費がかさむわけではなく、開票従事者の人数を多めに配置しつつ、職員の拘束時間を短くすることで人件費を抑制している自治体がある。さらに、大阪市や長崎市のような豊中市と同様かそれ以上の規模の自治体でも、選挙手当の代休処理を行い、かなりの経費削減を実現している。今後も、他市事例を調査研究して、経費の削減、効率的な投開票業務の実現に向けて取り組むべき!!

## 《都市創造研究所について~官学連携の強化を~》

Q. 研究所の都市政策研究事業に関わっている人員数や人員の経歴、研究内容は?

A. 昨年度は、所長、主任研究員各1人、非常勤の研究員2人、非常勤の事務職員1人、臨時職員として研究助手3人。研究員及び研究助手は、大学院を修了したものを採用。研究内容は「少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する調査研究」「道路整備の伴う居住者特性の変化の調査」「豊中市の活力・魅力づくりに関する調査研究」。

Q. 研究内容や人員を考えると、大阪大学などの研究室に調査研究を依頼した方が、官学連携の強化、豊中市の施策に関心をもつ大学生を増やす次世代育成にもなるのではないかと?

A. 大学との連携事業の展開については、一定の成果も期待できることから、今後とも、調査・研究をはじめ、様々な事業を展開していきたい。

### 神原の提言

包括連携協定を結んでいる大学の公共政策系の学部や研究室に研究を委託した方が、官学連携の促進、人材育成、調査研究の質の向上につながるはず!!現状では、研究者の都合により研究期間が短くなったり、必ずしも専門分野や関心のある項目でないテーマの研究を研究者がしなければならないなど様々な課題があり、より質の高い調査研究が実施される形を模索すべき!!

## 《市民意識調査について~サイレントマジョリティーの実態把握を~》

Q. 平成25年度実施された市民意識調査の回答率は?

A. 平成25年度実施分 **27.8%**。調査に必要とされる標本数は満たしており、統計学的に十分説明できる。

Q. 調査は手書きによる回答で、回答用紙を郵送としているが、時代に則した対応や若い世代の回答率を高めるため、パソコンや携帯、スマートフォンなどからでも回答できるような工夫が必要ではないかと?

A. ネットを併用すると、同一人物が郵送とネット双方で回答が可能となり、サンプルの無作為抽出性を損なってしまう。また、虚偽、代理などの不正回答の可能性が高まるなど、整理すべき課題が多いと考えている。

### 神原の提言

30%に満たない回答率でありながら、回答率の向上が大きな課題と認識していない市の感覚自体が大きな課題。市民生活において、老若男女問わず、パソコン、携帯、スマートフォン利用者は増え、インターネット普及率も増加し続けている。デジタル媒体の活用により、より多くの市民、世代の方の実態把握に努めるべき!!

## 《市債に対する市の考え方について~》

Q. 市債残高の多寡を図る指標や今後の返済計画はあるのか?平成25年度の一般会計の市債残高(960億8785万6千円)、市全体の市債残高(1632億4138万6千円)に対する評価は?

A. 市債残高を評価する指標として、実質公債費比率や将来負担比率があり、本市の実質公債費比率は8.6%、将来負担比率は23.9%で、早期健全化基準に至る状況にはない。市では特に市債残高の多寡を測る指標は設定していない。今後の社会経済情勢や金利情勢等の動向が不透明であり、長期的な市債残高に関する計画策定はなまじないと考えている。

### 神原の提言

市債残高の多寡を量る指標として、実質公債費比率や将来負担比率を挙げるのであれば、それらの数値目標を市として掲げるべき!!財政健全化に向けて計画的、戦略的な市債の返済、抑制に努めるべき!!

## 《すてっぷのフリースペースについて》

Q. フリースペースの課題と解決に向けた取組みは?

A. 利用者から「自習の学生が多く席が空いていない」「子どもや学生の話し声が気になる」「自習ができることが良い」など相反する意見がある。そこで、自習による長時間利用の緩和と高い自習ニーズに応えるため、夜間限定で情報ライブラリーの自習の場としての提供や、就職活動や資格取得に向けた自習スペースとして空室を提供する自習室事業「MYすてっぷ」を開始した。

### 神原の提言

自習スペースのニーズは非常に高い一方、市民ニーズも多様化する中、すてっぷ(男女共同参画推進センター)での取り組みや事業を参考に、他の市有施設や図書館等でも、曜日や時間帯に応じた空き室の自習室としての提供を検討すべき!!

## 《その他の質問について》

- ・職員の民間企業への派遣について
- ・マチカネくんの活用実態について
- ・歴史的文化的文書の保存及び公開について
- ・住民基本台帳カード事業について などなど

神原の個人質問の全容はホームページでご覧頂けます。  
http://www.geocities.jp/positive\_square  
皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。  
メールアドレス…young\_spiritjp@yahoo.co.jp